

建築巡礼「三井寺 光浄院客殿」



交久瀬 常浩

一級建築士／ジーピーアソシエイツ

家づくりはパズルのようなモノです。家族の想いをどこにハメるか考えることは、とても楽しいものです。ちょっとした工夫で空間が変化するように居心地のよい美しい住まいを目指します。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今回とりあげる建築は今、進行中の三井寺の霊園の仕事の関係で拝観させて頂いた光浄院になります。この建物は書院造りの原点といわれ、畳、襖、床の間などが初めて使われるようになった最初期のものになります。

実はこの日本建築が大戦後アメリカで再現されたことがあります。1954年NY近代美術館で住まいのあり方について考えるプロジェクトとして、マンハッタンの高層ビルに囲まれた中庭に建築家吉村順三の手によって造られたのです。この展示は一般の人々の間でも評判となり、入場には長蛇の列。「渋い」という言葉まで流行したそうです。

さて、実物の光浄院とはいうと、山裾の斜面をうまく利用した軒下空間がなんとも絶妙で気持ち良く、襖絵と対座し、庭には秋の気配、広々とした縁、大きくせり出した屋根、虫の声。想いは遥か70年前の摩天楼の谷間に建つ光浄院へと、まさにヴァーチャルリアリティ体感の場となったのでした。

日本民家集落博物館

8月ぐらいだったでしょうか。猛暑で汗ダラダラの中、以前から行ってみたかった大阪府豊中市の服部緑地内にある日本民家集落博物館を訪れました。

日本各地の代表的な民家を移築復元し、関連民具と合わせて展示するために1956年に日本で最初に設置された野外博物館です。約36,000㎡の敷地内に、北は岩手県「南部の曲家」から、南は鹿児島県「奄美大島の高倉」まで12棟の民家があり、いずれの民家も地方固有の風土、習慣から生まれた特色を取り入れた空間になっていて興味深いです。その土地の自然、生活を営んできた人々の知恵が垣間みえて、建築の初源的なあるべき姿が見えてとても有意義な時間でした。

藤森の一推しは、屋根も壁も茅で葺かれた独特のフォルムを持つ「信濃秋山の民家」旧山田家住宅です。近場で日本全国の民家が体験できるのはお得です。春夏秋冬、季節毎に訪ねてみようと思います。



藤森 大作

一級建築士／藤森大作建築設計事務所

その土地が持つ可能性とクライアントの要望をしっかりと読み解くことを大切に、素材を吟味し、年月を重ねるほどに味わい深くなる飽きのこない落ち着いた空間、家づくりを目指しています。

メンテナンスcolumn

プロのワザを教えます 壁紙の隙間の直し方

壁紙(ビニールクロス)も木材と同様に温度や湿度の影響を受けて伸び縮みする性質をもっています。特に竣工直後の家では室内の温度や湿度が安定しづらいため伸縮が起こりやすく、隙間が生じることがあります。これは欠陥ではなく自然な現象ですのでご安心下さい。今回は、隙間の補修方法のひとつで、DIYで挑戦できるプロの技をご紹介します。

step 1

準備と清掃

補修部分のホコリや汚れをウェットティッシュなどで拭き取ります。拭き取った後は少し乾かす時間を置いてください。

用意するもの

- ・コーキング材
- ・ウェットティッシュ
- ・マスキングテープ
- ・はさみ
- ・カッターナイフ

step 2

コーキング剤の準備

コーキング剤はホームセンターやインターネットで手軽に入手できます。チューブノズルの先端をカッターナイフで斜めにカット。ノズルの下の方を切ると太く出てしまうので、先端の方をカットするのがコツです。

step 3

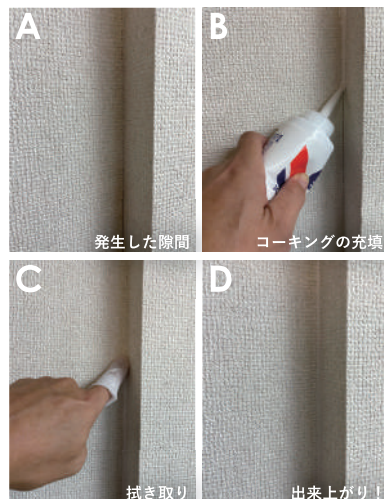
コーキング剤の塗布

チューブからコーキング剤を出しながら、隙間に沿って一定の力で塗布していきます。部屋の角(入隅)を補修する場合は45度の角度で差し込むと塗りやすいです。(写真B)また、壁紙と木枠の隙間の場合は、枠の方をマスキングテープで養生すると拭き取りが楽です。

step 4

仕上げ

塗ったコーキング剤を人さし指にウェットティッシュを被せて押し広げるように平らにならしていきます。ここで余分なコーキング剤を丁寧に拭き取ると、よりきれいに仕上がります。(写真C)一度でうまくいかなくても、焦らずにやり直せば大丈夫です。



隙間の状況や発生箇所によって補修方法が変わります。
お困りの場合は、いつでもお気軽に弊社までご相談ください。



益田 大治

メンテナンス事業部／二級建築施工管理技士

住まいのお引渡しをさせていただいてからが、お客様との長いお付き合いの始まりです。建物に必要な不可欠なメンテナンスを施し、日々快適な暮らしが出来ますよう尽力いたします。

EVENT REPORT

11月は家づくりの業務と並行して、IFAお客様感謝祭をはじめ、様々なイベントを行いました。ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。各イベントの様子をご紹介します。

IFA お客様感謝祭

今回もお客様感謝祭の実行委員長を務めさせていただきました。2025年は前回よりさらに多く、ついに350人を超えるお客様にご来場いただきました。ありがとうございました。そろそろ光善寺の倉庫ではスペースが足りなくなってしまうかと心配しております。手狭になってきて申し訳ありませんが、今年もぜひご参加いただけましたら幸いです。皆様とお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



服部 陸

ユーティリティ

ほとんどの方にとって家づくりは一生に一回の経験だと思うので、お客様に楽しんでいただけるように頑張ります。お引渡し後もIFA感謝祭などで、IFAと一緒に楽しんでいただけたら最高です。



毎年恒例の大工教室。



教室は大工とマンツーマン。金槌と釘など工具を使って踏み台づくりに挑戦。



その後、毎日使っています、とお声がけいただきました。



お昼過ぎの会場の様子。



学校に行きづらくなった子ども達を支えるあおい・HOPEのみなさんもボランティアで参加くださいました。



倉庫の隣、枚方オルタナティブスクールの教室ではダンボールワークショップを開催。



講師は枚方市駅にある写真のらかーの井上さん。



材料はダンボールのみ。大人も子ども真剣。



完成後は撮影会。みなさん、カッコいい！



食事はスタッフや協力業者の職人が担当しています。揚げ物担当はUT 徳永さん。



パティシエ井上さんのデザートはフランスの伝統菓子フランク(エッグタルト)、3種類の味をえらべて大好評でした！



焼き菓子のネーフさんも今年も参加いただきました！(写真通りそっくり。昨年と同じですみません)



小さなお子さまに大人気。ビエコロちゃんによるバルーンアートショー。



バルーンアートには行列が。



好評につき居酒屋まっさんを拡大！店主、監督、協力業者の職人たちが盛り上げます。



酒の神田屋厳選のお酒を飲みながら家づくり当時の思い出などゆったり会話ができました。



毎年恒例のおみんのワイン、格付け大会も開催！みなさんの今年の結果はいかに！



今回も多くのお客様にご来場いただき、誠にありがとうございました！

職場体験 -家をつくる仕事-



枚方・第四中学校と寝屋川・第六中学校の生徒さんが職業体験に来てくれました。今年は設計の仕事に関心のある方が多かったため、大工体験や現場見学に加え、作人・加藤先生企画の設計体験を実施。ユニークな発想を求められる課題に、デザインからプレゼンテーションまで挑戦してもらいました。今回の体験が少しでも将来の夢に繋がれば嬉しいです。(アシスタント中井)

無垢材に触れるコースターワークショップ



10月、11月にくずはモールにて開催された「不器用ファクトリー」に参加し、フローリング端材を使ったコースターづくりのワークショップを行いました。木の表面を紙やすりで丁寧に磨き、最後に蜜ろうワックスを塗って完成です。無垢材に触れる機会が少ないとのことで、お子様だけでなくご両親も夢中で作業されていたのが印象的でした。中には、触り心地を追求して30分以上磨き続けるお子様も。無垢板は、革製品と同じように手入れを重ねるほど美しく味わいが増す素材です。そんな無垢材の魅力を実際に体感していただくことができました。杉材とナラ材の手触りや木目の違いを比べながら材料を選ぶ工程も好評でした。完成したコースターを手にした皆さんの笑顔に、準備を頑張ったよかったと思いました。(プロデューサー高瀬)

第36回 枚方・交野ヶ原 天の川 とんど まつり

2026年
1月11日(日)

10:30 - 14:30 頃

場所：枚方モール前
天津橋下の河川敷



新年最初のイベントとしまして、こどもゆめのほしプロジェクトと共同で「天の川とんどまつり」を開催させていただき運びとなりました。伝統あるとんど祭りを引き継いで早くも3回目。今年は原点回帰として行事内容はシンプルに、お正月飾のお焚き上げと、キッチンカーで軽食の提供を予定しています。正月明けの凜とした空気の中で燃えるとんどの火、地味だけどどこか懐かしく、心に残る毎年の風景…。そんな地元の風景、文化の発信を目指しております。正月飾りをご持参の上、ご家族揃ってぜひ遊びに来て下さい。スタッフ一同、お待ちしております。

LINE

公式アカウント
ご登録をお願いします



LINEで見学会情報など家づくりの最新情報をお届けいたします！

見学会やイベントの開催情報

ブログ

施工事例

WORKSTORY

社長 Column

年始のご挨拶



谷口 大介

代表取締役・プロデューサー

枚方市香里ヶ丘在住。中央大学文学部英米文学科出身、大阪経済大学大学院経営学研究科修士課程修了。2022年8月よりIFA住宅設計室代表取締役に就任。

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は大変お世話になりました。

昨年開催させていただきました「IFAお客様感謝祭」に350名を超えるお客様にお越しいただきました。久しぶりにお会いできたご家族、初めてお越しいただいた方も多く、とても盛り上がった会になったのではないかと、準備に携わった社員や協力業者もやりがいを感じ、来年もより一層お客様に喜んでいただきたいと意気込んでおります。お越しいただきましたお客様には、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。今回、お目に掛かれませんでした方々にも、来年はぜひお会いしたいと思っております。

2026年の私も昨年50歳を迎え、31歳でIFAに入社し、20年目を迎えました。ついこの間、新年のあいさつをさせていただいたと思えば、もう一年が経ってしまいました。一日の日が経つのも短く感じ、昔親父に一日一日を大切にしろと言われていたことを身にしみて感じる今日この頃です。私事ですが、長女が高校

受験を控えており、家庭内では変な緊張感が漂っております。あんなに小さかった娘がもう高校生になることを考えると、嬉しいような寂しいような気持ちですが、子どもは勝手に大きくなっていくので、私が子離れを少しずつしていかなければ、と思っています。子育ての環境づくりという面では、私が家を建てたのが約4年前。長男が中学校三年生、娘が小学校五年生の時でした。忙しさにかまけて、家づくりが遅くなってしまったことは後悔しております。もっと子どもたちが小さく家族全員が集まれる時期に家を建てた方が、子どもの思い出に残ったのではないかと考えております。お客様の中には、小さなお子様と一緒に打ち合わせに来ていただいている方が数多くいらっしゃいます。そのご家族を見るたびに、昔を思い出しながら、家族が楽しめる家、ご夫婦が長く愛せる家をつくっていききたいと思いを募らせております。今年も社員全員で建築家と共に一つ一つ丁寧にお客様に心から喜んでいただける家をつくってまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



ひと
ところ
よるこび。

「すー」ところにとけこむような



次の世代へ受け継がれる家づくりを。

株式会社 IFA住宅設計室

大阪府知事許可建設業(特・6)第122036号 / 一般建築士事務所(第)第20706号

ギャラリー

〒573-0048 大阪府枚方市山之上西町27-30
TEL.072-846-1225 FAX.072-846-1226

枚方T-SITE 6階・7階

〒573-0032 大阪府枚方市岡東町12-2

工事部・倉庫

〒573-0064 大阪府枚方市北中振1-2-5

建築家と家づくりするための不動産専門店

株式会社 楽園不動産

楽園不動産



大阪府知事(第)第54601号

〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町1-1-10
TEL 072-845-0001 FAX 072-845-0003

IFA 住宅設計通信は、IFA で家づくりをしていただいたお客様、イベント等でアンケートにご記入いただいたお客様に送付しております。ご不要な場合は左記連絡先まで、ご連絡いただきますようお願いいたします。

IFA 住宅設計通信 発行：株式会社 IFA 住宅設計室 〒573-0048 枚方市山之上西町 27-30

お問
合せ
先

0120-556-327
www.ifainc.jp

公式 HP へは QR コードよりアクセスいただけます



公式 SNS も
フォローを
お願いします！



@ifa.hirakata